

1-1 ととのえる景観

○由比ガ浜通り地区・由比ガ浜中央地区の景観形成の取組

由比ガ浜通り地区と由比ガ浜中央地区は、中世以前の古い街道である由比ガ浜通りに面する商店街で、大正から昭和の初めにかけて付近の別荘を得意先として繁栄するなど、地域に根ざした商店街として歩みつけてきました。鎌倉市都市景観条例に基づく景観形成地区に指定され、地区の個性を活かした景観形成に取り組んでいます。

これらの地区では、良好な景観形成を推進する母体として「景観形成協議会」を設立し、様々な活動に取り組んでいます。また、地区内の建築物の新築等にあたっては、市への届出に先立ち、「協議会」の意見聴取の手続きを定めています。「協議会」は建築家等の専門家組織である「ひと・まち・鎌倉ネットワーク（景観整備機構）」の支援を受けながら、自主的な景観誘導に取り組んでいます。

由比ガ浜通り地区



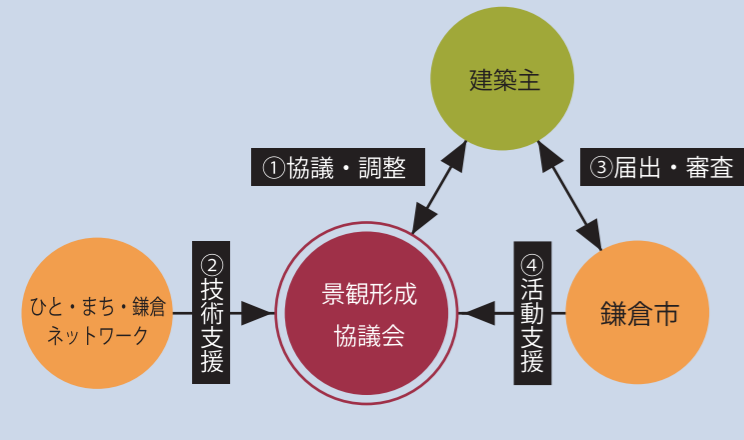
「商店街に残る近代のイメージを継承しつつ、由比ガ浜海岸の持つ、明るい若々しいイメージ」を取り入れるといったコンセプトのもと、まちづくりや商業基盤の整備に取り組んでいます。

由比ガ浜中央地区



「昔ながらの技や伝統の巧をもった店舗と、由比ガ浜海岸の明るいイメージを持った店舗が程よく融合し、気品と賑わいが感じられるまち並み」といったコンセプトを常に念頭に置き、様々な事業に取り組んでいます。

◆景観形成の取組体制◆



- ①建築主は、建築計画段階で、景観形成協議会の意見を求める。景観形成協議会は、本地区の景観形成の方針・基準に照らし、建築主と協議を行う。
- ②ひと・まち・鎌倉ネットワークは、景観形成協議会に対し、建築家等の専門家から技術的な支援を行う。
- ③建築主は、景観形成協議会の意見を聞いた後、景観法・鎌倉市都市景観条例に基づき、鎌倉市に届出を行う。鎌倉市は、地区の景観形成方針・基準に照らし審査を行う。
- ④鎌倉市は、景観形成協議会に対し、専門家の派遣や活動に関する支援を行う。

◆デザインレビュー（景観形成協議会との協議）◆



『帝国堂』（由比ガ浜通り地区）

- ・帝国堂は、都市計画道路の整備事業に伴い、建替えを計画しました。
- ・計画にあたり、由比ガ浜通り景観形成協議会と模型などをを用い、建替え計画案について協議を行いました。
- ・由比ガ浜通りの景観形成のルールを踏まえ、往時を彷彿させる看板建築のデザインが評価されました。
- ・真鍮のポールなど素材感ある材料は、帝国堂のブランドにふさわしく、まち並みに良い印象を与えています。



意見交換の様子



検討模型

◆インタビュー

○建築主（H氏）

- ・帝国堂は創業者が横須賀で時計修理の技術を学び、昭和2年に暖簾分けで、海軍の軍人さんが数多く住んでいたこの地に開業しました。
- ・その歴史にふさわしい建物のデザインにしました。



建替え前

○設計者（S建設）

- ・まち並みに突出しないプロポーションを意識し、温かみのある白を基調としたデザインにしました。
- ・外壁の素材には、御影石や真鍮など、レトロ感のある物を吟味しました。



建替え後

○北鎌倉東地区の景観形成の取組

北鎌倉東地区



○景観の特性

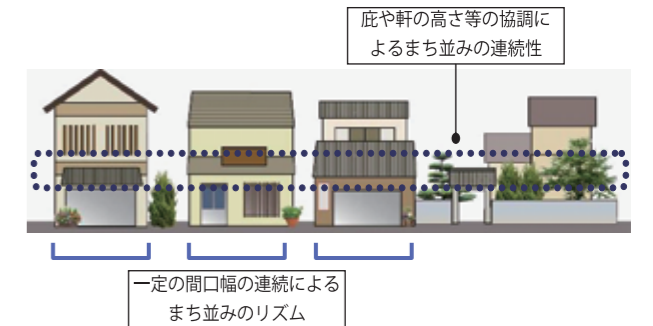
北鎌倉東地区は、中世からの歴史を持つ多くの寺社に隣接し、周辺を山々に囲まれた落ち着きと潤いのあるまち並みを生み出しています。このまち並みは、地域の共通財産と考えられ、今も守られています。

○経緯

北鎌倉東地区では、景観地区指定に向けた話し合いを通じて、まちづくりへの意識が高まり、地区のまちづくりに関する意見交換やニュースの発行などを行う「北鎌倉の景観を考える会」（平成19年11月）が住民により、発足しました。その後、市長の認定を受け、地区のまちづくりを担う団体として条例に基づく協議会へと移行しています。

◆まち並みの作法集◆

まち並みの作法集とは、地元協議会により景観地区の法的規制とは別に作られた景観形成の内容を取り決めた地区独自のルール・作法です。



作法2 まち並みの連続性

◆北鎌倉東地区のまちづくりの取組・流れ◆



北鎌倉東地区のまち並み

まちづくりへの意識の高まり

北鎌倉の景観を考える会

協議会の設立

北鎌倉景観地区都市計画決定

まちづくり憲章を宣言

まち並みの作法集

作法
暮らしやすい生活環境をつくるための配慮や工夫

+

まちのルール
必ず守らなければならない基準

「ひと・まち・鎌倉ネットワーク」の取組

○概要

一般社団法人 ひと・まち・鎌倉ネットワークは、湘南鎌倉を愛する建築家と様々な専門家とで構成され、地域のまちづくりに関する活動を行っています。平成23年4月、景観法に基づく景観整備機構に指定されました。

○代表コメント（K氏）

「鎌倉のまちなみの魅力をまもっていく」という大きな方針に沿ってさまざまな活動をしています。鎌倉にはどんな建物が似合うのか考えたり、道端の隠れた宝ものを探したり、市民のみなさんと協力して鎌倉らしさを大切にしていきたいと思っています。鎌倉らしさにはいろんな面がありますが、また訪れたい、いつかは住みたい、そしてずっとここで暮らしたいとみんながそう思うように、鎌倉のまちをもっと美しくしたいと思っています。

○主な活動内容

- ・由比ガ浜通りの景観形成協議会のサポート活動。
- ・景観意識の啓発のためのワークショップの開催。
- ・景観形成に関する調査・研究。
- ・「鎌倉まちのいろは」の出版。



◆まち歩きワークショップ◆
地元の方々や由比ガ浜通りの魅力について、建物の素材に注目しまち歩きをし、魅力の再発見を行いました。

◆「鎌倉まちのいろは」の出版◆
まちのルールを分かりやすく解説した、子供から大人まで読める絵本を出版しました。

